

科目名	開講期間	必修/選択	担当者名
実務で使える管理会計入門	後期	必修	岡本和也

【授業の目的と概要】

- ・ 中小企業への管理会計導入に役立つ知識を学びます。
- ・ 中小企業再生における管理会計の導入実例を、過程を説明しながら講義を行い、受講者の理解を深めます。
- ・ 管理会計の基礎知識について、実務家が実務での経験に則して説明します。
- ・ 演習問題、ケースメソッドを用いて受講者の理解を深めます。
- ・ 上記を通じて、管理会計の実践に関する基礎的能力を育みます。

【授業計画】

※実践的な授業方法…①企業等、②双方向、③実務家教員・実務家、④実地

回数	テーマ	実践的な 授業方法
	授業内容の概要	
1	総論（中小企業の管理会計導入の現状と問題点） 中小企業では管理会計の導入は極めて限定的である。実務において、管理会計が未導入のために経営不振となった事例を用いて、ディスカッションを行なう。それにより、中小企業の現状と問題点及び管理会計導入の必要性を理解する。また、中小企業では、管理会計導入の前提として財務諸表が、税務上問題のない会計基準で作成されており、一般に公正妥当な会計基準で作成されていないケースが多く、管理会計導入の前提として財務諸表の見直しが必要なことを理解する。	②③
	問題発見のための会計（財務諸表分析）① 財務諸表が適正に見直されたことを前提に、どこに問題があるのかを発見するための会計としての財務分析について理解を深める。第1回目は、総説、収益性分析、安全性分析について。	
	問題発見のための会計（財務諸表分析）② 財務諸表が適正に見直されたことを前提に、どこに問題があるのかを発見するための会計としての財務分析について、ケースメソッドを用いて理解を深める。第2回目は、生産性分析、キャッシュフローの分析、総合評価、ケーススタディについて。	
2	業績管理のための会計① 財務分析により把握された問題点を解決するための中期経営計画及び予算の策定活動について、事例を基にディスカッションを行ない、理解を深める。	②③
3	業績管理のための会計② 策定された中期経営計画及び予算と実績とを比較し、分析し、現業へフィードバックするモニタリング（予算統制）活動について、事例を基にディスカッションを行ない、理解を深める。	②③

5	意思決定のための会計	②③
	中小企業の経営者に必要不可欠な意思決定のための管理会計ツール(差額原価収益分析、業務的意思決定、設備投資の意思決定等)について、事例を基にディスカッションを行ない、理解を深める。	
6	中小企業への管理会計導入の促進要因と阻害要因	②③
	これまでの授業で取り上げた実務での導入事例から得られた知見について、全体で総括討議を行なう。	

【授業の到達目標】

- ・管理会計の基礎的知識を得ることができる。
- ・管理会計の実務への導入事例を理解し、実践に生かすことができる。

【成績評価方法】

- ・筆記試験による。

【テキスト・参考図書】

- ・岡本清、廣本敏郎、尾畑裕、挽文子著「管理会計」(中央経済社)
- ・上記以外にも、必要に応じてその都度資料を配付する。